

平成26年度 鳥取県教育委員会の主な取組



このたび、鳥取県教育振興基本計画を策定し、中長期的に取り組むべき目標や施策等を定めました。この計画を県民の皆さんと共有しながら、本県の教育を充実していきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。



鳥取県教育振興基本計画

基本理念 自立して心豊かに生きる 未来を創造する 鳥取県の人づくり

4つの「力と姿勢」

自立して生きる力

豊かな心と健やかな体

社会の中で支え合う力

ふるさと鳥取県に誇りを持ち、未来を創造する力

目標1 社会全体で学び続ける環境づくり

長期宿泊体験学習モデル事業

県立船上少年自然の家・大山青年の家で、小学校高学年を対象に4泊5日程度の長期宿泊体験学習をモデル的にを行います。

- 1学年全部、みんなで宿泊体験学習を行います。
- 協調性・自主性を育み、仲間づくりに必要な力が身に付きます。
- 授業に組み込むことのできる体験プログラムを行う事で、自然体験学習と授業時間数の確保を両立させます。

体験プログラムの例

野外炊飯・登山・カヌー・ネイチャークラフト・星空観察等



目標3 学校を支える教育環境の充実

エキスパート教員ステップアップ事業

教科指導等に卓越した力を持っているエキスパート教員5名を中学校区に配置し、その中学校区内にある小学校や中学校でチームティーチング(2人の教員で1つの授業)を行います。また、同じ市町村内の他の学校等からの依頼があれば、必要に応じて指導助言も行います。エキスパート教員の優れた力を、多くの教員の指導力と子どもたちの学力の向上に活用していくことをねらいとしています。



県立学校耐震化推進事業

いつ起こるかわからない大地震に備え、鳥取県では児童・生徒の皆さんが学習・生活する県立学校の建物を改修したり改築する耐震化対策を計画的に行っており、平成29年度中にはすべての県立学校で完了する予定です。



目標2 学ぶ意欲を高める学校教育の推進

土曜授業等実施支援事業

子どもたちのより健やかな成長のためには、土曜日の教育環境を豊かなものにする必要があります。

県教育委員会では、子どもたちの土曜日における教育活動の充実を目的として、学校・家庭・地域が連携・協力して行う学校における授業や、地域における多様な学習や体験活動の充実など、土曜日の特性を生かした取組の推進を支援します。



土曜授業等の実施例

- 家庭や地域の協力・参画を得て実施する授業や学校行事
- 保護者や地域住民等への公開授業
- 補充学習や発展的学習
- 企業技術者による講演会 等

英語教育のさらなる充実に向けて ～英語教育強化事業～

2020年度から、小学校で英語が教科化され、中学校・高等学校での教育内容が高度になるなど、大きく英語教育が変わろうとしています。県教育委員会では、英語科教員がこの変化に対応できるように本年度から、指導力向上のための研修を実施します。また、グローバル化が進展する中、子どもたちが世界への視野を広げる機会の充実を図ります。



一日英語村体験

●英語で仲間づくり～とっとりイングリッシュクラブ～

希望する県内の中学生と高校生でクラブを結成し、年間を通じて県内各地で英語のネイティブスピーカーなどとコミュニケーション活動を行います。最後には、自分のことや鳥取県の良さを英語で発信できる力を身につけます。また、従来の一日英語村体験は、小学生の部のみを継続し、夏休みに開催します。

●トビタテ!高校生～鳥取発!グローバルチャレンジ事業～

希望する高校生約30名を海外に派遣し、海外進出日系企業などを訪問したり、短期・長期留学を行う高校生の渡航費用などを助成(最大30万円)するなど、グローバル社会での活躍を目指してチャレンジする高校生を応援します。

●先進的な英語教育の取組～英語教育強化モデル地域など～

今後の英語教育の改革を先取りし、小・中・高等学校が連携して英語教育に取り組むモデル地域を指定します。また、小学校での英語教育、中学校でのオールイングリッシュの授業、高校でのディベートなどの取組などのために、様々な研修会を開催します。

いじめ防止対策推進事業

明日へつなぐ心のキャンペーン2014 ～子どもたちが取り組むいじめ対策～

いじめの未然防止のために、児童生徒が友人とともに自主的な取組を行っていくことが大切です。そこで、児童生徒参加型の次のような取組を行います。

〈募集〉いじめ防止啓発ポスターの募集

- いじめ防止啓発ポスターの募集

〈いじめをなくす校内活動への支援〉

- 児童生徒オリジナルデザイン缶バッジを作成する器具、パーツの貸し出し、提供

また、これらの取組を広める「こども未来フォーラム」を開催したり、ポスター優秀作品をカレンダーにして県内学校に配布したりすることも考えています。



昨年度の「いじめ問題シンポジウム」の様子

新スクラム教育スタート

中高連携事業

平成23年度から25年度の校種間連携を中心としたスクラム教育を発展させ、平成26年度から新たなスクラム教育として、教科(英語・数学(算数))でつながる6つのツリーへ拡充します。中・高等学校6年間を見通した学習内容の定着や応用力を伸ばす研究を進めるため、モデルとなる地域を6つ指定しました。また、その内3地域は小学校とも連携し、鳥取県における児童・生徒の学力向上を図ることとしています。



この取組は、平成26年度から28年度までの3年間実施し、6つのツリーで得た成果を全県の学校に普及させることを目的としています。

特別支援学校早朝子ども教室モデル事業

鳥取養護学校と倉吉養護学校をモデル校に指定し、学校受入時刻(午前9時頃)までの早朝時間帯の子どもたちの居場所を地域住民や保護者OB等からなる学校支援ボランティアにより整備し、保護者の負担軽減や児童生徒の活動を支援します。

早朝子ども教室の実施

- 実施場所 学校内の教室(生活訓練室等)
- 実施時間 登校時刻から学校受入時刻まで
- 対象生徒 小学部、中学部、高等部 10名程度
- 実施体制
 - ・地域住民、保護者等によるボランティア(各校2名)
 - ・学校とボランティアを調整するコーディネーター(各校1名)
- 実施内容 読み聞かせ、朝読書、見守り 等

学校ボランティア等研修会の開催

- 実施回数 年2回開催
- 目的 ボランティアの心構えや活動内容、特別支援の学習内容等を研修するため

とっとり夢プロジェクト事業

高校生のための新たなプロジェクト

～高校生の自由な発想・主体的な活動を支援します!!～

〈応募資格〉●県内の高等学校・特別支援学校高等部・高等専門学校(1～3年次)に在籍

- 個人でもグループでも可

〈交付対象となる活動(次のいずれかに該当すること)〉

- 他の生徒の励みになるもの、学校の活性化につながるもの
- 学年、学校、校種等の枠を超えた、創意工夫にあふれたもの

〈補助金額〉●1企画あたり100万円を限度

締切や選考方法等、詳しくは各学校に送付している要項をご覧ください。問合せ先/県教委高等学校課 電話0857(26)7916



目標4 生涯にわたって運動、スポーツに親しむ環境づくり

2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト

チーム鳥取!発掘・育成事業

オリンピック選手の可能性を秘めた子どもたちを発掘・育成するためのプログラムを作成し、子どもたちの夢を実現する事業に取り組みます。(主に中学生対象)

◎平成26年度内に、候補者を募集、選考会を実施する予定です。

夢!輝き情報発信事業

競技団体が行うトップ選手や指導者と県内の子どもたちが交流する事業を支援し、子どもたちがトップアスリートとふれあう機会を創出します。

オリンピック出場経験のあるスポーツ指導員の配置

ロンドンオリンピックホッケー競技日本代表の佐藤雅子さんが、鳥取県のスポーツ指導員として採用されました。学校への夢授業やホッケー競技の指導などを行います。

目標5 文化、伝統の継承、創造、再発見

「ふるさとを元気に」ととりの文化遺産活用推進事業

弥生の考現学～弥生を学び、現代を知る～

芸術や科学など様々な分野の専門家が、現代を起点に弥生時代を振り返り、現在そして未来へと繋がる話を妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡を素材に語る講演会を開催し、その内容を壁新聞や冊子などで紹介します。

ふるさと未来創造塾

小中学生を対象に、地元鳥取で伝統的な工芸や技術、芸能など文化財に関わる各分野で活躍する方を指導者とした体験講座を開催し、子どもたちが郷土に伝わる伝統の技や心に触れる機会を提供します。



白磁の技で人間国宝に選ばれた前田昭博さんの制作風景